

TS カレッジレポート

vol.6
2010.10

東京聖栄大学報



地域共創「食育サポーター事業」(NHK取材風景)

● C O N T E N T S ●

大学トピックス……………2・3
卒業式・入学式／人事異動……………4・5
管理栄養学科・食品学科の活動……………6・7
学生支援センターの活動……………8
キャリア・就職サポート……………9

学友会活動／後援会・聖栄会／公開講座……………10・11
平成21年度決算報告……………12・13・14
教育研究施設設備拡充資金……………14
大学附属わたなべ幼稚園／学生募集要項……………15
葛飾区との連携……………16

大学トピックス

：新奨学金制度スタート



入試成績優秀特待生



学業成績優秀奨学生



奨学生代表の挨拶

東京聖栄大学奨学金授与式が5月19日（水）に行われた。今年度より奨学金制度が新しくなり、入試成績優秀特待生3名、学業成績優秀奨学生10名（2年次生5名、3年次生5名）、計13名の学生が福澤美喜男学長から奨学金を授与された。

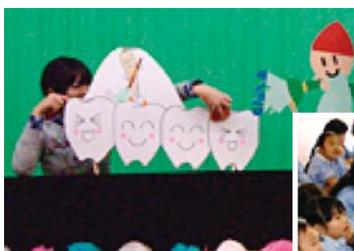
：学生との意見交換会



7月2日（金）、大学代表者11名と学生代表13名（1年次生3名、2年次生4名、3年次生6名）による意見交換会が行われた。学生から数多くの意見が出され、充実した意見交換会となった。



：食育イベント「わたなべ幼稚園」と「料理教室」



平成21年11月12日、16日、20日の3日間、管理栄養学科3年次生が、わたなべ幼稚園にて食育（実施責任者：渡辺順子講師・吉田助手、(社)全国栄養士養成施設協会後援）を实践した。幼児の発育段階での問題に合わせて、噛むことの大切さを教えた。



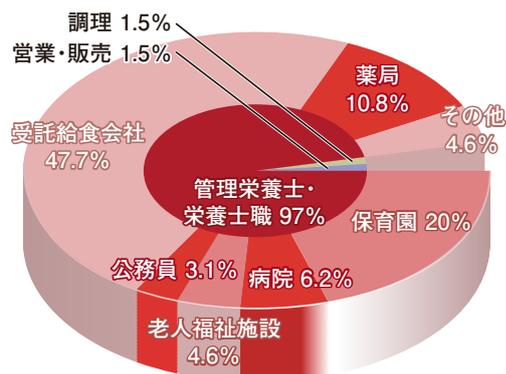
7月24日（土）に、(社)日本フードスペシャリスト協会助成事業として、食育事業「何を、誰と、どう食べる」（実施責任者：吉田講師・穂苅助手）を実施した。

参加したボーイスカウト小中学生・引率者はとても楽しんで参加していた。

好調なⅡ期生(平成22年3月卒業生)の就職状況(就職率94.6%)

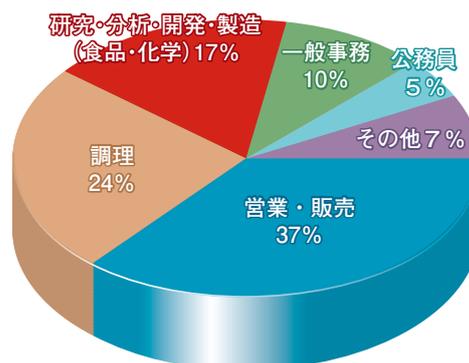
●管理栄養学科(就職率95.6%)

〈就職者65人/就職希望者68人〉



●食品学科(就職率93.2%)

〈就職者41人/就職希望者44人〉



職種別就職先グラフ

管理栄養士国家試験合格率上昇

国試対策の結果とその後の対策

2期生の国試合格率がおよそ20ポイント上昇し68.6%となった。今年度は更なる上昇を目指して外部模擬試験を昨年より4回増やし、実力向上と共に受験技術の習熟を図ることとした。また、ゼミナールⅠ・Ⅱと特論を連動させ、演習問題実施後に解答・解説をすぐにフィードバックさせ、



さらに苦手科目の補強として毎週各分野担当者による個人・グループの学習指導を行っている。夏季休暇中には2週間にわたる特別補習を実施した。総合演習Ⅱでは効果的な特論、直前補習を行い合格確実な140点を学内模擬試験でとれるよう、個人指導を進めていく。



合格者によるシンポジウム

増加する施設貸出

授業が休講の日(原則日曜・祭日)に教室等を外部団体に有料で貸出している。社員研修、国家試験の試験会場、テレビ撮影など多くの企業・団体が利用されている。

平成21年4月から平成22年3月まで、13企業・団体(42日間)が利用した。

最大収容定員は試験会場設定で約800名。

利用時間は原則9時から18時とし、時間外の利用も相談に応じている。

最寄り駅(新小岩駅)から徒歩1分の至便さから、本年度も既に数団体から予約を戴いている。〈詳細は総務課まで〉

卒業式・入学式

平成21年度 第2回卒業式

第2回卒業式が平成22年3月15日（月）わたなべ記念館において、多数のご来賓・保護者のご臨席のもと挙行された。管理栄養学科73名、食品学科57名、計130名が夢や目標に向かって巣立っていった。

式は学位授与ではじまり、管理栄養学科は福田静さん、食品学科は若山優子さんが代表として学位記を受領した。表彰者は、学長賞に食品学科の金内加実さん、優秀賞に管理栄養学科の佐藤香織さん、竹原翼さん、福田静さん、食品学科の若山優子さん、柳華織さん、森本季世さんの計7名となった。全国栄養士養成施設協会協会長賞は福田静さんが、日本フードスペシャリスト協会協会長賞は榎本悟さんが、食品科学教育協議会協会長賞は中川澄太さんがそれぞれ受賞した。

続いて福澤美喜男学長が、本学の建学の精神にある

「誠意、熱意、創意」の言葉をはなむけとした。

その後、ご来賓から式辞をいただき、在校生代表山崎竜太郎さんの送辞、卒業生代表の庄司良平さんの答辞と続き、校歌と蛍の光を斉唱して式は終了した。



平成22年度 第6回入学式

桜の花が雨にぬれる4月5日（月）、平成22年度入学式が東京聖栄大学わたなべ記念館において挙行された。

午前10時30分より開式となり、健康栄養学部管理栄養学科92名、食品学科56名の新入生が式に臨んだ。開式の辞に続き福澤美喜男学長の式辞では、本学の沿革と建学の精神について触れ、さらに「大学全入」時代を迎え、大学を卒業する者の資質を確保するため、中央教育審議会は卒業するまでに学生が最低限身につけな

ければならない能力を「学士力」と定義しており、「知識」、「技能」、「態度」、「創造的思考力」の4分野13項目を卒業するまでに最低限身に付けなければならない能力であると訓示され、本学で学ぶ4年間に有意義な学生生活になることを願っていると述べられた。

この後、新入生宣誓や来賓祝辞、祝電披露に続いて、最後に全員で校歌を斉唱し、式は滞りなく終了した。



人事異動

(順不同 敬称略)

〈教員〉

昇任 平成22年4月1日付

教授 橋場 浩子
長須 正明

採用 平成22年4月1日付

准教授



鈴木 三枝 (すずき みえ)

昭和47年 相模女子大学学芸学部卒
栃木県保健所主査・栄養指導員、東京栄養食糧専門学校副校長を経て本学准教授

担当教科「公衆栄養学」「総合演習Ⅰ」「臨地実習」

専任講師



片山 佳子 (かたやま よしこ)

昭和61年 実践女子大学家政学部卒
平成21年3月 東京農業大学大学院農学研究科博士後期課程修了 博士(農芸化学)

(社)日本果汁協会東京検査所、東京農業大学特別研究員、本学非常勤講師を経て本学専任講師

担当教科「食品学実験Ⅰ・Ⅱ」「食品分析学」「化学実験」

非常勤講師(新規委嘱) 平成22年4月1日付

秋山 義継 (あきやま よしつぐ)

担当教科「経営学」

鈴木 正俊 (すずき まさとし)

担当教科「経済学」

井戸 大輔 (いど だいすけ)

担当教科「食商品学」

菊池 修平 (きくち しゅうへい)

担当教科「食品流通技術論」

中富 貴仁 (なかとみ たかひと)

担当教科「食料サービス実習」

「フードサービスビジネス論」

原 温久 (はら はるひさ)

担当教科「フードシステム論」

藤田 明男 (ふじた あきお)

担当教科「品質管理」

退職 平成22年3月31日付

教授 山崎 文雄

〈職員〉

昇任 平成22年4月1日付

企画調整室次長 丸山 信一 同室課長兼務

片山佳子講師 論文賞受賞

食品学科片山佳子講師が6月に沖縄県にて開催された日本食品保蔵科学会第59回大会において、論文賞を受賞した。

採用 平成22年4月1日付



法人事務局次長 高橋 成彰



事務局(企画調整室) 富永 裕樹



学生支援センター 山本 浩作

平成22年9月1日付



学務課 金丸 亜樹

退職 平成22年3月31日付

学生支援センターチーフマネージャー 奥 信三郎

企画調整室 川原 泰利

財務課 主任 兒玉 康愛

平成22年8月31日付

学務課 佐藤 裕美

職員配置換 平成22年7月1日付

財務課長補佐(経理係担当) 鈴木 和男
(総務課長補佐兼務)

企画調整室 谷内 ひろみ
<学生支援センター>

総務課 鈴木 敦子
<学生支援センター>

学務課 富永 裕樹
<企画調整室>

学生支援センター 高山 隆弘
<学務課>

学生支援センター広報業務兼務 山口 智史
<専門学校事務室主任>



山崎 文雄先生に 本学名誉教授称号授与

山崎先生は昭和62年4月、本学の前身聖徳栄養短期大学教授に就任、大学開学後も引き続き教授として「公衆栄養学」「栄養教育・指導論」をご担当され教育指導にあたられた。この間4年制大学への改組開学に尽力、また厚生労働省の各種委員会委員も長く務められたが、平成22年3月ご退職された。教育を通じて本学の発展に特に功労があったとして、教授会の推薦に基づき、本学名誉教授第1号として本年5月称号記が授与された。

管理栄養学科の活動

フレッシュマン・セミナー(4月)

入学式翌日(4/6)の朝、大学前から新入生92名と管理栄養学科教員が2台のバスで出発した。

〔八王子セミナーハウス〕にて20名の教員・助手と7名の現4年次生が大学や管理栄養士について説明し、学生生活について4年次生と膝を突き合わせて話し合った。笑い声が聞こえるようになり、1年次生にも笑顔が見られるようになった。



懇親会は4年次生がそれぞれの才能を生かして会場を大いに盛り上げてくれた。1年次生も存分に楽しんでいた。

二日目は“バウムクーヘン”、“焼きプリン”の手作り体験をした後、バーベキュー食べ放題でおなかいっぱいとなった。

最後に“サントリービール武蔵野工場”を見学し充実したセミナーを終えた。



臨地実習報告会(4月)

昨年夏から始まった【臨地実習】の前半部報告会が開催された。3年次夏休みから事業所を中心に10の施設で実習を行った76名が、講堂でパワーポイントを活用してその成果を発表した。

初めての現場実習で様々なことを学んできた様子がきちんと伝えられた。



(実習報告書から抜粋)

- ・衛生管理がしっかりしていてそれを身をもって体験した。
- ・栄養士という仕事について多くのことを学んだ。仕事は甘くない。

食品学科の活動

フードサイエンスコース、フードビジネスコースの更なる充実を

食品学科の学生で、将来食品の開発、製造、衛生管理等の分野で活躍を希望する人は、2年次フードサイエンスコースを、外食産業、自営業、食品流通、観光産業等の分野で活躍を希望する人はフードビジネスコースを選択できるようになった。またフードビジネスコースの所属学生で、規定された単位を取得して、さらに選抜されたものは併設の調理師学校で勉強し、調理師資格を取得することも可能になった。各コース

のカリキュラムは、それぞれの分野での、幅広い視野と専門性を高めるように工夫されている。学科としては、座学の勉強以外に種々の研修やインターンシップを実施することにより、学生の就職力をより高めていきたいと考えている。平成23年3月卒業予定の学生でも、従来の食品の品質管理、製造等の分野に加えて、食品の流通、販売やホテルへの内定者が出始めている。

新入生宿泊研修(4月) フィールド研修(8月)

新入生宿泊研修

食品学科では、本年度から新入生ガイダンスを兼ねて東京都卸売市場（食肉・大田・築地）の見学と工場見学を1泊2日で実施した。

初日は大田食肉市場の見学を行った。研修センターで係員の方のレクチャーを受け、ビデオで食肉の解体や流通の現状などを学んだ。場内の見学では、実際に食肉が競りにかけられている状況を見学することができた。ホテルでのガイダンスでは、松本学部長の講話と眞木教授の「安全な食を求めて」の演題で講義があり、新入生は熱心に受講していた。また“先輩方のお話を聞こう！”という企画では、4年次生の先輩方から、東京聖栄大で学ぶためのアドバイスを受けることができた。その後、食品学科教員との懇親会が行われた。



翌朝、大田市場（野菜・果物）を見学した。早朝から活気溢れる市場の空気を

体験し、野菜やメロンの競りの状況も見学した。その後、築地市場に移動し、大型マグロの解体や買出し人で賑わう中卸店舗などを見学した。最後はサッポロビールの工場見学を行い、ビールの製造工程について学んだ。

フィールド研修

1年次生は8月3日～5日の2泊3日で長野県伊那市を中心に研修を実施した。

野菜の収穫から現地料理の調理・手作りソーセージ、食品会社の見学を通して食の環境を学び、学生同士の親睦も含め充実した研修を行うことが出来た。

食品学科のフィールド研修も6回目となり、大学で

学ぼうえで良い礎となっている。



インターンシップ(8月～)

東京聖栄大学のインターンシップは今年で4回目を迎える。インターンシップを経験した学生は、1・2年次とは明確な違いを感じさせる。即ち、入学時の期待と不安から来る言動から、間もなく社会人になる、という意識の転換が見られる。

昨年度は28人が履修し、全員が一段と逞しくなって帰って来た。本来、インターンシップは就職活動とは

無縁のものであるが、研修を機に、その企業に魅力を感じ、入社試験を受けて採用された学生が毎年いる。このような事も後輩に良い影響を与えているようである。

22年度 研修先
アサマ化成(株)、葛飾区役所、小久保製氷冷蔵(株)、壽食品工業(株)、第一屋製パン(株)、山崎製パン(株)、ユニテック・フーズ(株)、米屋(株)、(株)中村屋 埼玉工場、(株)白松がモナカ本舗、ヤマザキナビスコ(株)古河工場、三求化学工場(株)

学生支援センターの活動

安心・安全講話会

5月21日（金）、昨年同様葛飾警察署協力のもとで、学内外の事件・事故防止を目的に新入学生を対象に安心・安全講話会を行った。防犯係川良進氏による出会い系サイトや架空請求等のサイバー犯罪に巻き込まれないための心構えや、交通総務係田山七郎氏による交通事故に関する話など私たちにとっては身近な内容で、多くの学生が真剣に聴講した講話会となった。



マナー講座

6月25日（金）、学内で実施している『マナー向上運動』の一環として、今年度も新入学生を対象にマナー講座を実施した。講師は例年同様、元聖徳栄養短期大学非常勤講師で、現在財団法人実務技能検定協会試験面接官の前田小百合先生をお招きした。マナー度チェック表や敬語ワークシートなどを利用し、わかりやすく説明をされていた。学生は、実技を含めた講座に真剣に取り組んでいた。



食育・地域共創事業の推進

学生支援センターでは、関係者協力のもと、食育・地域共創事業の推進を積極的に行っている。今年も、葛飾区や地元地域との連携により「交通事故死ゼロを目指す日」キャンペーン（警視庁葛飾警察署）・わんぱく相撲葛飾区大会・新小岩天祖神社例大祭夜店等に参加協力した。また、『聖栄葛飾祭』での食育イベントなどを推進実施している。



キャリア・就職サポート

学生支援センターでは、学生のそれぞれの能力や技量に合った進路が見いだせるよう、入学時から卒業後まで、きめ細かいキャリア・就職サポートを実施して

いる。学生は、希望する進路決定の実現の為、積極的に学生支援センターを活用してください。

平成22年3月卒業生就職結果

Ⅱ期生（平成22年3月卒業生）の就職率（就職希望者比）は、極めて厳しい新卒者採用環境において94.6%と高い数字となった。学生・保護者・教員・学生支援センターの連携のもと、卒業生の多くは本学の教育研究に関連した業種職種に就職した。

進路・就職結果

	管理栄養学科	食品学科	合計
就職者（正社員）	65	41	106
就職未内定者	3	3	6
<就職希望者>	<68>	<44>	<112>
進学者	2	3	5
その他	3	10	13
卒業生	73	57	130

主な就職・進学先

【就職】

<管理栄養士・栄養士職>

(公務員) 埼玉県栄養士・千葉県栄養士
 (病院) 東京大学医学部附属病院好仁会、(医社) 三友会
 三枝病院、(医社) 白寿会 田名病院
 (老人施設) (社福) 三誠会 特養マーシイヒル、(社福)
 双樹会 (特別養護老人ホーム)

(保育園) アンデルセン保育園、(社福) わかみや福祉会
 (保育園)、矢向つぼみ保育園、上智厚生館保育園、江
 北保育園、亀戸浅間保育園、大西保育園、桑川保育園、
 うらら保育園、アリスなかよし保育園

(給食会社) 日清医療食品(株)、日本給食サービス(株)、シダッ
 クス(株)、富士産業(株)、(株)レオックジャパン、エームサー
 ビス(株)、(株)エム・ティー・フード、(株)グリーンハウス、
 (株)ニッコトラスト

(薬局) (株)スギ薬局、(株)セイジョー、(株)マツモトキヨシ

<公務員>横浜市食品衛生監視員、千葉県警察

<一般企業>

(株)伊勢丹、(株)カネボウ化粧品、(株)京橋千疋屋、(株)グル
 メ杵屋、小久保製氷冷蔵(株)、サミット(株)、(株)白松がモ
 ナカ本舗、高瀬物産(株)、(株)華屋と兵衛、(株)ファイブフォッ
 クス、(株)ホシザキ湘南、(株)松屋フーズ、(株)レイズイ
 ンターナショナル、和幸商事(株)、和光食品工業(株)

【進学】

筑波大学大学院

平成23年3月卒業生就職内定状況

今年の新卒者の就職戦線は、(株)リクルートの調査によ
 ると、求人倍率が1.28倍となり、ITバブル崩壊後最
 悪の数字となっている。新卒者求人総数も、前年度よ
 りマイナス19.8%で約14万3400人の減少が見込まれて
 いる。

本学4年次生の就職内定状況は、昨年度より厳しく
 8月末現在で、36.6%で前年度マイナス6.4ポイントで
 ある。学科別では、管理栄養学科は40.9%（前年度比
 マイナス5.6ポイント）だが、就職希望者の増加もあり
 前年度と比較し内定者は3名の増加、管理栄養士職内
 定者は1名増加している。食品学科は、27.9%（前年
 度比マイナス10.9ポイント）で、非常に厳しい数字と
 なっている。

病院、福祉施設、保育園等の管理栄養士職の直営給食
 採用等は、今後本格化する。一般企業採用も、厳しい状
 況下においても今後も
 継続する。今後の就職
 活動に対し、学生支援
 センターをはじめ全学
 的なサポート対応強化
 に努めますので、ご協
 力をお願いいたします。



学内企業説明会

平成22年度主なキャリア・就職支援行事

実施月	行事名	対象
4月	新年度ガイダンス	全学年
	就職ガイダンス（就職業者）	3年
	ベネッセ就職模試「スタート」	1年
5月	ベネッセ就職模試「スタート」	3年
	ベネッセ就職模試「キャリアアプローチ」	3年
6月	ベネッセ模試・解説ガイダンス	1年
	ベネッセ模試・解説ガイダンス	3年
7月	エントリーシート対策講座	3年
	未内定者ガイダンス	4年
10月 (予定)	学生支援センターガイダンス	1～3年
	公務員ガイダンス	全学年
	SPI対策インターネット講座（就職業者）	3年
	就職対策DVD上映会	3年
	就職活動対策講座	4年
	キャリア支援ガイダンス	1年
10月～12月 (予定)	フレッシュキャリア社員制度説明会	4年
	直営給食施設希望者ガイダンス	4年
11月～12月 (予定)	公務員試験・SPI試験対策集中講座	1～3年
1月(予定)	就職活動のためのマナー講座	3年
	就職活動のためのディスカッション講座	3年
2月(予定)	4年次生就職活動体験講話	3年
	学内業界・企業説明会	3年

学友会活動

会長挨拶



学友会会長 管理栄養学科3年
野澤 勇氣

この度、学友会会長に承認していただきました管理栄養学科3年次生野澤勇氣です。

今年度の学友会は「どのような状況でもベストを尽くす」の精神で活動を行っています。

今年はワールドカップイヤーということで、サッカー日本代表選手達のようにどんなに厳しい状況に追い込

まれても諦めることなく全力で立ち向かうという姿勢を自分達も見習おうということでこの考えにしました。

今後、聖栄葛飾祭など色々な行事が予定されています。行事以外にも地域の方との活動や学生皆さんの学生生活の支援などをより多くの意見を取り入れながら全力で行っていききたいと思います。

日々努力してまいりますので、これからも学友会をよろしくお願いいたします。

学友会総会・新入生歓迎会

4月14日（水）、学友会総会が開催され、新役員の選出、21年度決算報告及び22年度予算案等が承認された。また、野澤勇氣会長による新体制が発足した。

新入生歓迎会では、映画「男はつらいよ」に登場するだんご屋のモデルとなった店である、(株)高木屋代表取締役社長の石川宏太氏を招き『柴又の名物とまちづくり』と題する特別講演が行われた。



聖栄葛飾祭

今年の『聖栄葛飾祭』は11月6日（土）、7日（日）に開催する。年々規模を拡大して開催されている『聖栄葛飾祭』は地元密着の大学祭として、今年も葛飾区の後援、地元の協力等を得て開催される。今年のテーマは「eating is happy 食べるって幸せ♡」に決定した。たくさんの方々のご来場をお待ちしております。



体育祭

5月28日（金）、体育祭が開催された。クラス対抗戦優勝の3FAが学長杯を勝ち取り、副賞として今回から後援を受ける聖栄会より賞金を授与された。また、出席率最多（100%）の1NA、1FAも聖栄会長賞として、聖栄会より賞金を授与された。当日は晴天に恵まれる中、多くの学生が参加し、歓喜につつまれた体育祭となった。



平成22年度 部・同好会一覧

部 名	学 生 代 表	
食 品 加 工 研 究 部	3FA	島 岡 智 里
食 品 化 学 研 究 部	3NB	岸 野 智 美
調 理 実 習 部	2NA	黒 藪 成 美
硬 式 テ ニ ス 部	4FA	山 田 雅 智
合 気 道 部	3FA	佐 藤 友 昭
バ レ ー ボ ー ル 部	3FA	森 井 由 佳
バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 部	3NB	五 十 川 侑 子
華 道 部	3NA	安 元 真 奈 美

同 好 会 名	学 生 代 表	
ダ ン ス 同 好 会	2NB	松 橋 広 志
バ ド ミ ン ト ン 同 好 会	3NA	長 田 理 枝
軽 音 楽 同 好 会	3FA	柳 田 汐 里
あ ぐ り	4NA	石 原 み どり
ソ フ ト テ ニ ス 同 好 会	3NA	江 澤 摩 美
フ ッ ト サ ル 同 好 会	3FA	石 井 浩 司
野 球 同 好 会	3NB	地 曳 峻 彦
聖 栄 ビ ア ヘル ビ ン グ ワ ー ク ス	3NA	出 口 由 美 子
バ ン 同 好 会	2FA	寺 村 有 史
剣 道 同 好 会	3NA	手 塚 将
吹 奏 楽 同 好 会	3FA	古 川 英 樹
サ ッ カ ー 同 好 会	4FA	渡 部 昌 世
フェ ン シ ン グ 同 好 会	2NA	春 山 範 光

後援会・聖栄会の活動



後援会会長
糸井 正明

東京聖栄大学も開学から6年目となり、第2期生も卒業し、それぞれの新たな目標へ向かって旅立ちました。また4月から新一年生が加わりますますます活気ある大学に成長していることを感じます。

さて後援会としては、有意義な学生生活が過ごせるようまた大学の発展向上のために、大学と在学生保護者との密接な連携を図り、教育事業や課外活動等の支援を行ってまいります。

具体的には大学の教職員の皆様との懇親会の開催や、校友会活動の補助、就職・社会活動への協力、後援会会報の発行その他を通して後援会活動を盛り上げていきたいと思っております。

後援会の主な活動

平成22年度

- 保護者懇談会開催（10月2日（土））
保護者と教職員の情報交換会
- 後援会会報の発行（2回発行予定）
（10月1日付）（3月15日付）
- 会議の開催

定期総会	4月5日（月）
役員会	6月5日（土）
	3月下旬
役員四役会	2月下旬



聖栄会会長
荻野 薫子

本年3月に東京聖栄大学第2期生、130名を聖栄会会員としてお迎えすることができました。ご卒業を心よりお喜び申し上げます。聖栄会では、聖栄葛飾祭の餅つき大会に協賛参加し、更に本年5月の体育祭に青春の思い出にと、奨励賞の贈呈を企画した結果、出席率100%のクラスが2クラスも出ました。また、総合優勝のクラスの奮闘等、在校生の活躍を目にしてうれしい限りでした。松本学部長からのお褒めの言葉にもありましたように、このファイトを学業にも活かしていただきたいと思っております。6月の聖栄会総会並びに懇親会では、第2期卒業生に早速乾杯の音頭を取っていただき、会員相互の親睦を深めました。聖栄葛飾祭には、講演会を別館4階で開催いたしますので、ご来場願います。母校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

※聖栄会は聖徳栄養専門学校、聖徳栄養短期大学、東京聖栄大学の同窓会です。

聖栄会の主な活動

平成22年度

- 4月 聖栄会便りの発刊
- 5月 体育祭に奨励賞を贈呈
- 6月 定期総会ならびに懇親会の開催
- 10月 第22回食文化研究会の開催
（10月3日）
「カフェ・ド・イシスにて京料理」の研修
- 11月 聖栄葛飾祭への参加
校友会主催の餅つきに協賛
講演会、お茶席の開催
- 3月 第3期卒業生に記念品贈呈
役員会の開催
全体役員会は年2回開催（10月、1月）その他役員会は随時開催

平成22年度 公開講座

本年度は、6月に専任講師・新村真由美先生の健康栄養講座1「おいしく食べて健康に」と准教授・高橋祥子先生の健康栄養講座2「私の食事 大丈夫」、7月には教授・井筒雅先生の小学生親子講座「バターと裂けるチーズの手作り体験」の3講座を実施しました。

健康栄養講座は、講義の他に調理実演や測定などを

取り入れた体験型講義を実施し受講者の理解を深め、親子講座では、食品を通して小学生にも素材の機能や性質の分野に興味を抱かせることができました。

また、本年4月から葛飾区で開設された「かつしか区民大学」の講座として、対象年齢が該当する本学の健康栄養講座が指定を受けました。



平成21年度決算報告

学校法人東京聖栄大学

財務担当理事 小林 壯一

平成21年度決算による本学の財政収支状況の概要は、次の通りである。

18歳人口の減少、長引く経済不況など厳しい情勢下において、全国大学平均では46.5%の大学で入学定員割れとなっており、本学においても定員割れによる学生納付金収入不足や国庫補助金の減額など全般的な収入の減少によって帰属収入が前年度を下回ったことにより、支出について極力抑制に努めたにもかかわらず、結果として当年度消費支出超過額は4800万円となった。収支改善に向けてなお一層の努力が必要である。

1. 資金収支計算書

本年度の資金収支の決算規模は、30億4800万円となり、前年度比2億8000万円減となった。前年度繰越支払資金を除く当年度の収入額は、12億2700万円であり、これに対して当年度支出額は11億7700万円となったので、次年度繰越支払資金は前年度比5000万円増の18億7000万円となった。

資金収支計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで) (単位 千円)

	収入の部			
	科目	予算	決算	差異
	学生生徒等納付金収入	993,183	988,583	4,600
	手数料収入	18,750	17,243	1,507
	寄付金収入	5,135	4,235	900
	補助金収入	133,327	133,070	257
	国庫補助金収入	89,000	88,743	257
	地方公共団体補助金収入	42,992	42,992	0
	その他補助金収入	1,335	1,335	0
	資産運用収入	21,033	17,136	3,897
	事業収入	18,300	14,416	3,884
	雑収入	6,614	7,438	△824
	前受金収入	473,035	457,775	15,260
	その他の収入	41,975	55,488	△13,513
	資金収入調整勘定	△465,196	△468,211	3,015
	前年度繰越支払資金	1,820,606	1,820,606	
	収入の部合計	3,066,762	3,047,779	18,983
	支出の部			
	科目	予算	決算	差異
	人件費支出	682,000	693,507	△11,507
	教育研究経費支出	225,466	231,161	△5,695
	管理経費支出	112,216	99,474	12,742
	借入金等利息支出	3,520	3,520	0
	借入金等返済支出	12,220	12,220	0
	施設関係支出	10,000	9,208	792
	設備関係支出	27,000	24,195	2,805
	資産運用支出	100,000	100,000	0
	その他の支出	21,344	25,977	△4,633
	〔予備費〕	10,000		10,000
	資金支出調整勘定	△21,344	△21,877	533
	次年度繰越支払資金	1,884,340	1,870,394	13,946
	支出の部合計	3,066,762	3,047,779	18,983

2. 消費収支計算書

消費収入は、帰属収入が前年度比6500万円減の11億8500万円となった。当期の基本金組入額については、組入額より取崩額が多いため0となり消費収入の部合計額は帰属収入と同額となった。消費支出合計額は、12億3300万円となったので、当年度の消費支出超過額は4800万円となり、当年度決算における翌年度繰越消費支出超過額は（基本金取崩の関係もあって）3億8000万円となった。

消費収支計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで) (単位 千円)

	消費収入の部			
	科目	予算	決算	差異
	学生生徒等納付金	993,183	988,583	4,600
	手数料	18,750	17,243	1,507
	寄付金	8,325	7,567	758
	補助金	133,327	133,070	257
	国庫補助金	89,000	88,743	257
	地方公共団体補助金	42,992	42,992	0
	その他補助金	1,335	1,335	0
	資産運用収入	21,033	17,136	3,897
	事業収入	18,300	14,428	3,872
	雑収入	6,614	7,438	△824
	帰属収入合計	1,199,532	1,185,465	14,067
	消費収入の部合計	1,199,532	1,185,465	14,067
	消費支出の部			
	科目	予算	決算	差異
	人件費	685,942	678,503	7,439
	教育研究経費	413,422	422,643	△9,221
	管理経費	126,300	112,258	14,042
	借入金等利息	3,520	3,520	0
	資産処分差額	20,055	15,541	4,514
	徴収不能額	0	533	△533
	〔予備費〕	6,000		6,000
	消費支出の部合計	1,255,239	1,232,998	22,241
	当年度消費支出超過額	△55,707	△47,533	
	前年度繰越消費支出超過額	△529,770	△529,770	
	基本金取崩額	131,560	197,037	
	翌年度繰越消費支出超過額	△453,917	△380,266	

3. 貸借対照表

21年度末の資産の部合計額は95億1700万円であり、前年度末より8100万円減となった。負債の部合計は10億1500万円であり、前年度末より3300万円減少した。基本金の部合計は88億8200万円となり、前年度末より1億9700万円減となった。消費収支差額の部合計は3億8000万円の支出超過となっている。

負債の部、基本金の部及び収支差額の部合計は、95億1700万円となった。

貸借対照表 (平成22年3月31日) (単位 千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	7,636,852	7,739,904	△103,052
有形固定資産	5,676,964	5,991,596	△314,632
土地	1,889,400	2,020,960	△131,560
建物	3,315,686	3,468,860	△153,174
その他の有形固定資産	471,878	501,776	△29,898
その他の固定資産	1,959,888	1,748,308	211,580
流動資産	1,880,362	1,857,852	22,510
現金預金	1,870,394	1,820,606	49,788
その他の流動資産	9,968	37,246	△27,278
資産の部合計	9,517,214	9,597,756	△80,542
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	498,112	525,336	△27,224
長期借入金	171,080	183,300	△12,220
その他の固定負債	327,032	342,036	△15,004
流動負債	516,999	522,783	△5,784
短期借入金	12,220	12,220	0
その他の流動負債	504,779	510,563	△5,784
負債の部合計	1,015,111	1,048,119	△33,008
基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	8,090,467	8,287,505	△197,038
第2号基本金	661,902	661,902	0
第4号基本金	130,000	130,000	0
基本金の部合計	8,882,369	9,079,407	△197,038
消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	△380,266	△529,770	149,504
消費収支差額の部合計	△380,266	△529,770	149,504
科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金の部および消費収支差額の部合計	9,517,214	9,597,756	△80,542

4. 財産目録

資産は、基本財産64億円であり、運用財産27億2100万円、収益事業用財産は4億3000万円で、資産の部合計額は95億2400万円である。

負債は、固定負債4億9800万円、流動負債5億1700万円、収益事業用負債600万円で、負債の部合計は10億2100万円である。資産の部合計から負債の部合計を差し引いた正味財産は85億300万円となり、前年度より4700万円減少した。以上

財産目録 (平成22年3月31日現在) (単位 千円)

I 資産総額	9,523,825
内 基本財産	6,399,626
運用財産	2,721,179
収益事業財産	403,020
II 負債総額	1,021,031
III 正味財産	8,502,794

区分	金額	
資産額		
1. 基本財産	6,399,626	
有形固定資産	5,676,964	
土地	18,804.62 ㎡	1,889,400
建物	16,524.13 ㎡	3,315,686
構築物		61,467
図書	51,509 冊	141,179
教具・校具・備品	9,821 点	265,815
車両	7 台	3,417
その他の固定資産	722,662	
施設設備拡充引当特定資産		661,902
借地権		59,900
その他		860
2. 運用財産	2,721,179	
現金預金	1,870,394	
定期預金	600,000	
有価証券	200,000	
その他	50,785	
3. 収益事業用財産	403,020	
資産総額	9,523,825	

負債額	
1. 固定負債	498,112
長期借入金	171,080
その他	327,032
2. 流動負債	516,999
短期借入金	12,220
前受金	457,775
その他	47,004
3. 収益事業負債	5,920
負債総額	1,021,031

正味財産 (資産総額－負債総額)	8,502,794
---------------------	-----------

※財務状況の詳細については大学ホームページをご覧ください。

5. 5カ年連続消費収支計算書 (21年度)

平成17年度から21年度まで過去5年間の連続消費収支総括表は次の通りである。本学は平成17年度4年制大学に改組し、20年度に完成した。

したがって、正常な財務分析比率等は平成20年度からになるが、開学時から学年進行中の財務の経過を表に示した。

5カ年連続消費収支計算書 (21年度)

単位 千円

	平成17年度 (開設)		平成18年度		平成19年度		平成20年度 (完成)		平成21年度		全国平均
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	医療系を除く
収入の部											
学生納付金収入	794,067	73.9	677,794	72.9	848,387	76.2	997,526	79.8	988,583	83.4	73.0
手数料収入	21,273	2.0	22,763	2.5	22,087	2.0	16,229	1.3	17,243	1.5	2.6
寄付金収入	16,218	1.5	30,084	3.2	12,569	1.1	10,242	0.8	7,567	0.6	2.4
補助金収入	91,654	8.5	135,571	14.6	156,617	14.1	154,194	12.3	133,070	11.2	12.5
資産運用収入	3,359	0.3	4,918	0.5	11,290	1.0	21,288	1.7	17,136	1.4	2.9
資産売却収入	50	0.0	0	0	1,066	0.1	0	0.0	0	0.0	0.4
事業収入	16,633	1.6	30,884	3.3	26,697	2.4	15,984	1.3	14,428	1.2	3.2
雑収入	131,500	12.2	27,351	3.0	35,025	3.1	34,983	2.8	7,438	0.6	2.9
帰属収入	1,074,753	100.1	929,365	100.0	1,113,739	100.0	1,250,446	100.0	1,185,465	100.0	100.0
基本金組入額	△ 89,298	△ 8.4	△ 7,900	△ 0.9	0		△ 43,420	△ 3.5	0	0.0	△ 13.2
消費収入合計	985,455	91.7	921,465	99.1	1,113,739	100.0	1,207,026	96.5	1,185,465	100.0	86.8
支出の部											
人件費支出	848,866	79.0	703,187	75.7	663,828	59.6	704,202	56.3	678,503	57.2	52.8
教育研究経費支出	363,950	33.8	375,315	40.4	399,930	35.9	425,455	34.0	422,643	35.7	31.0
管理経費支出	165,906	15.4	155,794	16.8	229,472	20.6	128,830	10.3	112,258	9.5	9.9
借入金利息支出	1,834	0.2	3,960	0.4	3,960	0.4	3,739	0.3	3,520	0.3	0.4
資産処分差額	1,986	0.2	43	0.0	69,358	6.2	2,939	0.2	15,541	1.3	5.6
徴収不能額	2,229	0.2	1,320	0.1	4,718	0.4	1,320	0.1	533	0.0	0.2
(予備費)											
消費支出合計	1,384,771	128.8	1,239,619	133.4	1,371,266	123.1	1,266,485	101.3	1,232,998	104.0	99.8
当年度消費収支差額	△ 399,316		△ 318,154		△ 257,527		△ 59,460		△ 47,533		
前年度繰越消費収支超過額	△ 86,643		△ 485,959		△ 383,718		△ 470,310		△ 529,770		
基本金取崩額			420,395		170,935				197,037		
翌年度繰越消費収支超過額	△ 485,959		△ 383,718		△ 470,310		△ 529,770		△ 380,266		
人件費依存率	106.9		103.7		78.2		70.6		68.6		72.3
人件費比率	79.0		75.7		59.6		56.3		57.2		52.8
帰属収支差額比率	△ 28.8		△ 33.4		△ 23.1		△ 1.3		△ 4.0		0.2
消費収支比率	140.5		134.5		123.1		104.9		104.0		115.0

(注) 全国平均は私学振興・共済事業団発行「今日の私学財政」20年度の数字

教育研究施設設備拡充資金の募金について

本学は約五十年に亘って、「食と栄養」に関する教育研究活動を展開し、栄養、健康など食生活の分野において社会に貢献する数多くの人材を世に送り出してきました。しかし、社会の変遷は急を告げ急速に少子高齢化社会が到来し、保健、医療、介護など高齢者対策の中で欠くことのできない栄養管理の必要性が問われています。また、家庭における生活様式の変化に伴い食生活の多様化が進み、欠食、外食、孤食などの増加はあらゆる年齢層に波及し、生活習慣病は今や高齢層のみならず若年層にも影響を始めており、乳幼児からの食育の重要性が指摘されています。食育基本法に基づく食育推進基本計画の推進や最近特に社会問題になった食品衛生・管理、食の安全性に関する諸問題などに対応し、また新食品の開発の促進などを行っていくためには、食と栄養に関する資質の高い知識と専門技術を習得した人材が求められています。

本学におきましては、こうした社会的要望に応え、急激に変遷する社会と共生し公共性の高い教育事業を通して大学としての社会的責任を果たしていくためには、更なる教育研究の高度化推進を図り教育研究環境整備充実を促進していく必要があります。

しかしながら、昨今の私学を取り巻く客観情勢は、少子化の影響や国庫補助金の減額などにより、一段と厳しさが増してきており、私学財政は新たな局面を迎えています。もとより本学園と致しましては財政基盤の確立に最善を尽くしていく所存ではありますが、新たな教育研究の発展向上を図っていくための施設設備の改善充実には限界がありますので、教育研究用施設の整備、実験・実習用機械・器具、備品の増設または更

新などに要する資金の相当部分は、在学生保護者、教職員、卒業生、民間企業など大学関係者並びに社会一般からの寄付金に頼らざるを得ないのが実情であります。

長引く経済不況の折から諸事ご多端のところまことに恐縮に存じますが何卒事情ご賢察のうえ、寄付募金にご協力くださいますようお願い申し上げます。

募金要項

- 目的：教育研究施設設備拡充資金に充当するため。
- 募金目標額：2千5百万円
- 寄付金額：1口 5万円
(なるべく2口以上を希望しますが5万円以下でも結構です。)
- 募集期間：平成27年3月1日まで
- 申込書・振込方法：本学園所定の用紙をご利用ください。
- お問い合わせ：事務局財務課募金係
TEL 03-3692-0211(代)
- ◎この募金は、税法上所得税の寄付金控除の対象となります。
(詳細については募金係までお問い合わせください。)

募金受入状況

平成17年度以降21年度までの募金受入状況は下表のとおりです。
この募金は、別口座にて積み立てられ募金の趣旨に則り教育研究施設設備充実のために有意義に活用させていただきます。

年度	申込件数	金額 (円)
平成17年度	33	3,150,000
18年度	41	3,750,000
19年度	32	2,700,000
20年度	27	2,500,000
21年度	17	1,600,000
合計	150	13,700,000

大学附属 わたなべ幼稚園だより

わたなべ幼稚園では、園児たちに色々な体験をさせてあげたいと考えております。今回は鎌ヶ谷総合病院 救急部スタッフのご協力の下、園児たちに救急車の試乗体験をさせていただきました。

いつもは救急車を見ると怖がっている園児たちも救急車の中をのぞいたり、介護用のリフトに乗ったりして、興味津々に見入っていました。



また、救急処置の指導もしていただき、救命訓練に使われる人形に、小さな手で果敢に心臓マッサージを行っていました。

終了後、教職員にも救急医療についての講習会を催していただき、救急対応について学ぶことが出来ました。



平成23年度 東京聖栄大学 学生募集要項

【管理栄養学科】(募集定員 80 名・男女)

入試区分	募集人員	選抜方法	出願資格・試験教科等	試験日
指定校制推薦入試	16名	面接・調査書	学校長推薦書、第一志望、全体の評定平均3.5以上、一浪可	10月31日(日)
公募制推薦入試Ⅰ期	20名	適性テスト・面接・調査書	学校長推薦書、第一志望、全体の評定平均値不問、一浪可	
公募制推薦入試Ⅱ期	4名	小論文・面接・調査書	学校長推薦書、第一志望、全体の評定平均3.5以上、一浪可	12月12日(日)
一般入試Ⅰ期	14名	学力試験・調査書	必須:「国語総合(近代以降の文章)」、「英語Ⅰ・英語Ⅱ」 選択:「数学Ⅰ・数学A」、「化学Ⅰ」、「生物Ⅰ」から1科目	1月28日(金)
一般入試Ⅱ期	14名			2月2日(水)
一般入試Ⅲ期	6名			2月23日(水)
センター利用入試Ⅰ期	4名	平成23年度大学入試センター試験成績・調査書	必須:「国語」(近代以降の文章)、「英語」(リスニングを除く) 選択:「数学Ⅰ・数学A」、「化学Ⅰ」、「生物Ⅰ」から1科目	1月15日(土)
センター利用入試Ⅱ期	2名			1月16日(日)
センター利用入試Ⅲ期	若干名			

【食品学科】(募集定員 80 名・男女)

入試区分	募集人員	選抜方法	出願資格・試験教科等	試験日
AO入試Ⅰ期	16名	受講感想文・面接・課題発表・調査書	全体の評定平均値不問、一浪可(出願許可後は第一志望)	9月11日(土)
AO入試Ⅱ期	4名			9月18日(土)
指定校制推薦入試	12名	面接・調査書	学校長推薦書、第一志望、全体の評定平均3.0以上、一浪可	12月12日(日)
指定校制特別推薦入試	4名			
公募制推薦入試Ⅰ期	12名	適性テスト・面接・調査書	学校長推薦書、第一志望、全体の評定平均値不問、一浪可	10月31日(日)
公募制特別推薦入試	2名			
卒業生子女等推薦入試	若干名			
一般入試Ⅰ期	10名	学力試験・調査書	必須:「国語総合(近代以降の文章)」、「英語Ⅰ・英語Ⅱ」 選択:「数学Ⅰ・数学A」、「化学Ⅰ」、「生物Ⅰ」から1科目	1月28日(金)
一般入試Ⅱ期	10名			2月2日(水)
一般入試Ⅲ期	6名			2月23日(水)
センター利用入試Ⅰ期	2名	平成23年度大学入試センター試験成績・調査書	必須:「国語」(近代以降の文章)、「英語」(リスニングを除く) 選択:「数学Ⅰ・数学A」、「化学Ⅰ」、「生物Ⅰ」から1科目	1月15日(土)
センター利用入試Ⅱ期	2名			1月16日(日)
センター利用入試Ⅲ期	若干名			
社会人特別入試	若干名	小論文・面接・調査書	23歳以上、社会経験者	2月23日(水)

※指定校制特別推薦入試および公募制特別推薦入試は、専門高校・総合学科卒業生選抜入試です。

※一般入試、センター試験利用入試は、それぞれ2学科併願受験ができます。(受験料は1学科分です)

※大学入試センター試験で本学が指定する選択科目を受験した場合には、そのうちの高得点科目の成績を利用します。

※詳細は「平成23年度学生募集要項」で確認してください。

受験相談会

10/9(土)

11/6(土)※

11/7(日)※

11/27(土)

■開催時間: 各回とも13:00-16:00 要予約

■主な内容: 学部・学科及び平成23年度入試の概要説明、施設見学、在校生と語ろう、個別相談 他 ※11月6日(土)、7日(日)は聖栄葛飾祭(大学祭)同時開催。

<お問い合わせ先>

学生支援センター入試相談室

〒124-8530 東京都葛飾区西新小岩 1-4-6

TEL: 03-3692-0211 (代) TEL: 03-3692-0238 (入試相談室 直通)

URL <http://www.tsc-05.ac.jp/> E-mail nyushi@tsc-05.ac.jp

葛飾区との連携

地元自治体である葛飾区との連携により、新たな取り組みを行っている。

四季折々の花が咲くプランターの設置

事務局次長 高橋 成彰

大学と区とが協定を結び、区からはプランターやポット苗・花の種子等が大学へ提供され、大学・学生が維持管理を行い、地域並びに学校敷地の美観向上に取り組んでいる。



協定を締結 福澤理事長と青木葛飾区長(左)
(平成22年4月7日)



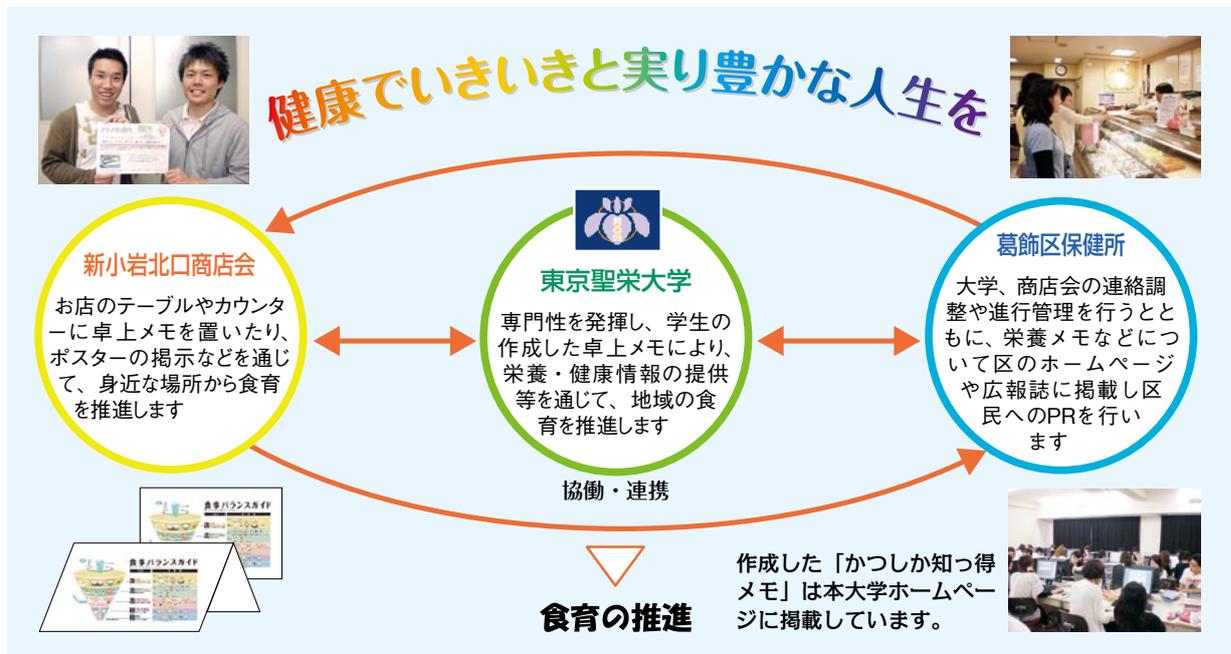
同好会「あぐり」のメンバーがプランターへの土入れや苗植え作業



区との協定により設置した25台のプランターと春の草花が22年度の新入生を温かく迎えた。

「食育サポーター事業 in 葛飾区」の実施

管理栄養学科 新村 眞由美 講師



これらの取り組みは、東京聖栄大学の方針である、「地域社会への貢献」「地域共創」の考えに基づき、積極的に取り組んでいる。

発行 東京聖栄大学

〒124-8530 東京都葛飾区西新小岩 1-4-6

TEL : 03-3692-0211 (代)

URL <http://www.tsc-05.ac.jp/>